

別紙

名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
旧松岡家住宅主屋	長井市	江戸後期	長井盆地の田園地帯に所在する農家の屋敷。主屋は寄棟造り茅葺きで、正面中央に切妻造り※1の破風※2を付す。前蔵は元は茅葺きで、穀を収める穀櫃を備え、屋敷の表構えとなる。後の蔵は、北側は土間で作業場とし、南側は二階建ての板敷きで米蔵とした。馬屋は主屋の土間に接続し、馬房を二つ配して柱にマセ棒穴を残す。作業小屋及び牛舎は主屋の表側に離れて位置し、牛舎は東面に明かり取りと換気の窓を並べ、柱にマセ棒※3穴を残す。屋敷林に囲まれて水田に浮かぶような屋敷構えは、稲作農家の歴史的景観を伝える。	住宅	1
旧松岡家住宅前蔵		明治 20 年		住宅	1
旧松岡家住宅後の蔵		明治 32 年		住宅	1
旧松岡家住宅馬屋		昭和 7 年		産業 1 次	1
旧松岡家住宅作業小屋及び牛舎		明治 41 年		産業 1 次	1
近岡家住宅主屋	金山町	江戸末期	市街地から北西に所在する農家の主屋。大規模な中門造り※4の建物で元は茅葺き。昭和中期に中門に二階座敷、座敷側に式台玄関を設け、広縁の正面側を窓とするなど発展させる。正面に消雪池を設ける雪国らしい構え。	住宅	1

参考

※¹切妻造り＝屋根の最頂部の棟から地上に向かって二つの傾斜面が本を伏せたような山形の形状をした屋根

※²破風＝雨除けなどのため、屋根の側面についている板のこと

※³マセ棒＝馬を止めるため柵のように設置する棒

※⁴中門造り＝母屋から中門（おもに馬屋）を突き出したものでL形の平面をもつ

○基準＝登録有形文化財登録基準

- 1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 2 造形の規範となっているもの
- 3 再現するものが容易でないもの

【旧松岡家住宅】



主屋



主屋 (内部)



前蔵



後の蔵



馬屋



作業小屋及び牛舎

【近岡家住宅主屋】



主屋



主屋 (内部)